



いわくにし
山口県岩国市

個人部門

農林漁業

伝統の継承

新規就農者の確保・育成・定住



うめかわ ひとき
No.7 梅川 仁樹

～わさびの産地化と就農支援により地域に活力～



山口県農業士協会による研修



首都圏就農相談ゆめツアー

経緯

- 岩国地域の畑わさびは、高齢化や栽培期間が長い等の理由から面積が減少し、産地存続が危ぶまれる。
- 超促成栽培と他品種との組み合わせにより産地の再興を考える。
- 産地化することで地域を活性化し、人の問題や農地の問題、高齢化による伝統芸能の継承など様々な問題を解決することが重要と考え、支援活動を本格化。

取組内容

- 山口県農林総合技術センターと連携し、わさびの超促成栽培を検証し、収益性の高い新技術を確立。
- 県農業士協会のリーダーとして、県内全域における移住・定住、新規就農者の支援に取り組む。
- 人・農地プラン等の話し合いに参加し、課題解決に向けた方針作成に寄与。
- 向峠神楽保存会に所属し、地元の小学生に神楽を伝承することにより伝統文化の継承に努める。

活動の効果

- 超促成栽培により高い収益性を確保することができた。
- 新規就農者に対し、栽培技術・経営学の習得支援だけでなく、就農した地域で生活する上でのアドバイス等を行うなどにより、定着率が向上した。
- 規模拡大や新規就農者の確保に向けた迅速な支援を行ったことにより、令和2年度の新規就農は2件(法人及び個人)。